

公示

次のとおり企画提案競技（プロポーザル方式）の募集を行います。

令和5(2023)年10月6日

収支等命令者

佐賀県男女参画・こども局こども家庭課長 野中 美香

1 業務内容

- | | |
|--------------|--|
| (1) 委託名称 | <u>令和5年度 佐賀県こどもアドボカシー調査・研究事業</u> |
| (2) 委託業務の仕様等 | 別紙業務委託仕様書による |
| (3) 業務期間 | <u>契約締結の日から</u>
<u>令和6(2024)年3月31日（日）まで</u> |
| (4) 委託上限額 | <u>3,420千円</u> （消費税及び地方消費税額を含む） |

2 参加資格に関する事項

本件プロポーザルに参加を希望する者は、次に掲げる要件の全てを満たす者であることを要する。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当する者でないこと。
- (2) 会社更生法（平成14年法律第154号）又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき更生手続開始又は民事再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。
- (3) 公募開始の日の6か月前から契約の日までの間、金融機関等において手形又は小切手が不渡りとなった者でないこと。
- (4) 佐賀県発注の契約に係る指名停止措置若しくは入札参加資格停止措置を受けている者又は佐賀県発注の請負・委託等契約に係る入札参加一時停止措置要領に該当する者でないこと。
- (5) 自己又は自社の役員等が、次のいずれにも該当する者でないこと、及び次のイからキまでに掲げる者が、その経営に実質的に関与していないこと。
 - ア 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）

- イ 暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員を言う。以下同じ。）
- ウ 暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者
- エ 自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員を利用している者
- オ 暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者
- カ 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
- キ 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれらを利用している者

3 手続等に関する事項

- (1) 担 当 課 佐賀県男女参画・こども局 こども家庭課
児童福祉担当

住 所 〒840-8570 佐賀県佐賀市城内 1-1-59

電 話 0952-25-7056

ファックス番号 0952-25-7300

メールアドレス kodomo-katei@pref.saga.lg.jp

- (2) 説明書の掲載期間及び方法

令和5(2023)年10月6日(金)から令和5(2023)年10月18日(水)まで
佐賀県ホームページに掲載する。

4 説明会 実施しない

5 参加資格の確認

本件プロポーザルに参加を希望する者は、参加資格確認申請書(様式第1号)に関係資料を添付のうえ、上記担当課に持参又は郵送し、参加資格の確認を受けること。

(注) 郵送の場合は、配達事故を防ぐため、配達記録が残る方法とすること。

- (1) 提出期限 令和5(2023)年10月12日(木)午後5時まで

- (2) 参加資格の確認結果は、令和5(2023)年10月13日(金)までに通知する。

6 提案書の提出

関係資料を添付のうえ、上記担当課に持参又は郵送すること。

(注) 郵送の場合は、配達事故を防ぐため、配達記録が残る方法とすること。

- (1) 提案書の内容は、別紙説明書のとおりとする。
- (2) 提出期限 令和5(2023)年10月16日(月)午後5時まで

7 プレゼンテーションの日時及び場所

- (1) 日時 令和5(2023)年10月18日(水)午前10時～
- (2) 場所 男女参画・こども局 局内会議室(県庁旧館3階)

8 結果の通知及び仕様協議

令和5(2023)年10月19日(木)までにすべての参加者に対し通知する。
なお、決定した者と仕様協議を行い、改めて見積書を聴取し、随意契約を行う。

9 評価に関する事項

- (1) 評価基準は別表のとおりとする。
- (2) 提案書の内容に未記入箇所がある場合、添付資料等の不備により記載内容が確認できない場合は、該当する評価項目は0点とする。
- (3) 評価基準には、提案内容の水準を確保するため、最低基準点を定める。

10 その他

(1) 契約保証金

- ア 契約締結の際に、契約金額の100分の10以上に相当する金額を納付すること。
- イ 契約保証金の納付に代えて、佐賀県財務規則(平成4年佐賀県規則第35号) 第115条の規定に基づき、担保を供することができる。
- ウ 次の各号に掲げる場合は、契約保証金の納付を免除する。
 - (ア) 県を被保険者とする履行保証保険契約(見積金額の100分の10以上)を締結し、その証書を提出する場合
 - (イ) 国又は地方公共団体、地方公共団体等との間において、当該契約と同種かつ同規模の契約を締結し、これらのうち過去2年間に履行期限が到来した契約を適正に履行した実績を有しており、かつ、その者が当該契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき。

(2) 見積書について

見積書に記載する金額は、見積もった契約希望額(消費税及び地方消費税額を含む金額)とする。

(3) 失格要件

次のいずれかに該当する場合の提案は無効とする。

- ア 参加する資格のない者が行った場合
- イ 本件プロポーザル手続について不正行為を行なった場合
- ウ 見積書の金額、氏名及び印鑑について誤脱又は判読不可能なものを提出した場合
- エ 1人で2以上の提案をした場合
- オ 代理人でその資格のない場合
- カ 提案書の重要事項が適切に記述されていない場合
- キ 虚偽記載、その他不正な行為があったと認められる場合
- ク 前各号に掲げるもののほか、競争の条件に違反した場合

(4) プロポーザル手続の中止

次の各号のいずれかに該当する場合は、本件プロポーザル手続を中止する。
この場合の損害は参加者の負担とする。

- ア 参加者が連合し、又は不穩の行動をなす等の場合において、本手続を公正に執行することができないと認められるとき。
- イ 天災その他やむを得ない理由により、本手続を行なうことができないとき。

(5) 最優秀提案者の決定方法

評価点の最も高い者を最優秀提案者とする。なお、最優秀提案者となるべき評価点の最も高い者が2人以上あるときは、技術点が高い者を最優秀提案者とする。

(6) 参加者に求められる義務

参加者は、提出した関係資料等について説明を求められた場合は、これに応じなければならない。

なお、提出された資料については、当該業務に関する目的以外には使用しない。

(別表)

評価基準

審査項目	評価の観点	評点 (100点満点)
提案内容	<p>業務委託を実施するにあたり、企画提案内容が適正かつ具体的なものであり、実現可能な内容となっているか。</p> <p>(チェックポイント)</p> <p>①意見表明支援の試験的实施について</p> <ul style="list-style-type: none">適切な人員を、仕様書に定める人数を満たす形で手配することとされているか訪問のスケジュールは適切か子どもや関係者に対する説明(広報)について、適切に計画が立てられているか子どもからの聴取の手法及び聴取後の対応は明確かつ妥当なものとなっているか。 <p>②児童福祉審議会等による模擬調査審議への参画について</p> <ul style="list-style-type: none">業務の一環として適切に盛り込まれているか。 <p>③意見表明支援の結果分析・報告書の作成について</p> <ul style="list-style-type: none">適切な手順及びスケジュールで実施されるよう計画されているか今後、佐賀県が進めていく子どもの意見表明支援事業に向けた効果的な検証方法が提案されているか。 <p>④アドボケイト候補者の研修受講</p> <ul style="list-style-type: none">十分な人数を確実に受講させることとされているか	60点
組織の経験・能力	<p>事業の実施体制及び事業実績等からして、業務の確実な実施が期待できる者であるか。</p> <p>(チェックポイント)</p> <ul style="list-style-type: none">過去に類似の業務を実施しているか。事務局において、業務を適切に遂行する人員及び体制を取り得るか。アドボケイトして稼働できる十分な専門職を擁しているか。児童福祉に関する幅広い知見・ネットワークを持っているか。優れた情報収集能力を持っているか。	30点
価格点	必要経費の見積額及び配分は妥当か、安価であるか。	10点